

目次

I 情報収集・提供事業	- 1 -
■1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業	- 1 -
(1) 図書・資料室の運営 (2-7)	- 1 -
(2) ロビー、ギャラリー等の運営 (2-7)	- 2 -
II 広報出版事業	- 4 -
■2 情報提供事業	- 4 -
(1) 国際交流センターだより等の発行 (2-8)	- 4 -
(2) センターホームページの運営 (2-8)	- 4 -
(3) 各種メディアの活用 (2-8)	- 5 -
III 講座・研修事業	- 5 -
■3 日本語講座開催事業	- 5 -
(1) 日本語講座の開催 (2-1)	- 5 -
(2) 特別講座 (2-1)	- 6 -
(3) 研修会 (2-1)	- 6 -
■4 国際文化理解講座事業	- 7 -
(1) グローバルセミナー (2-3)	- 7 -
(2) 国際文化理解講座 (2-3)	- 7 -
■5 国際理解講座事業	- 8 -
(1) 外国語による国際理解講座 (2-2)	- 8 -
■6 ボランティア養成事業	- 9 -
(1) 観光ボランティア通訳セミナー (2-2)	- 9 -
(2) 災害時通訳ボランティアセミナー (2-2)	- 9 -
(3) プロボノによる多文化共生社会推進事業 (2-2)	- 10 -
IV 国際交流促進事業	- 11 -
■7 日本語スピーチコンテスト事業	- 11 -
(1) 日本語スピーチコンテスト (2-5)	- 11 -
■8 国際文化交流会事業	- 12 -
(1) 「多文化映画会」(2-2)	- 12 -
(2) 世界の音楽会 (魅惑の音楽紀行) (2-6)	- 12 -
(3) 留学生と交流する会 (2-3)	- 13 -

(4) 生活にほんごサロン (2-1)	- 13 -
V 外国人相談事業	- 14 -
■9 外国人相談事業	- 14 -
(1) センター相談事業 (2-4)	- 14 -
(2) 相談実績	- 14 -
(3) 相談支援 (2-4)	- 14 -
VI その他の事業	- 15 -
■10 東京オリンピック・パラリンピック関連事業	- 15 -
(1) 観光ボランティア通訳セミナー (再掲)	- 15 -
(2) パラリンピック競技種目体験	- 15 -
■11 国際交流センター設置目的に沿った事業	- 16 -
(1) グローバルセミナー(再掲)	- 16 -
(2) 地域資源を活用した外国籍の子ども支援 (自主事業)	- 16 -
■12 施設運営及び維持管理業務	- 17 -
(1) 国際交流センターの管理運営 (JV)	- 17 -
(2) 施設整備	- 20 -
(3) 市民共同おひさま発電所	- 20 -
(4) 利用実績	- 21 -
■13 利用者からの意見等に対する対応状況	- 22 -
■14 施設管理運営における事故等の対応状況	- 23 -
■15 個人情報の保護状況	- 23 -
■16 利用者アンケートの実施	- 23 -
(1) 図書・資料室 (再掲)	- 23 -
(2) 外国人市民利用者アンケート	- 24 -

平成 31 年度公 2 事業報告書（川崎市国際交流センター事業）

（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

※事業名末尾の（ ）書きは、県申請時の「公益目的事業について」の【事業の内容】の頭書番号です。

I 情報収集・提供事業

■1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業

(1) 図書・資料室の運営 (2-7)

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営においては、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

ア 利用時間 午前 10 時～午後 8 時（開館日）

イ 利用対象 小学校 4 年生以上（小学校 3 年生以下は保護者同伴）

ウ 複写 資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー可とした。

白黒コピー（B5～A3）1 枚 10 円

カラーコピー（B5～B4）1 枚 50 円（A3）1 枚 80 円

エ 閲覧等 原則閲覧利用とし、学校等公的団体へは貸出しを行った。

オ 利用者 9,889 名（平成 31 年 4 月～令和 2 年 2 月 ※令和 2 年 3 月は休館）

カ 閲覧数 図書等（2,296 件）ビデオ（45 件）CD（17 件）DVD（18 件）検索用パソコン（332 件）

キ 閲覧図書上位 1 児童向け図書

2 参考図書

3 ワールド

4 語学

5 日本

ク 蔵書数

書 籍	17,185 冊
	和図書 14,351 冊
	外国語図書 2,834 冊
新 聞 (日刊・週刊など)	17 紙
	英語 1 紙
	韓国・朝鮮語 1 紙
	中国語 3 紙
	日本語 10 紙
	タガログ語 1 紙
	日本語、中国語 1 紙
情 報 誌	38 誌
	和雑誌 25 誌
	外国語雑誌 13 誌
	(うち在日外国人向け生活情報誌) 9 誌
視聴覚資料	740 巻
新聞スクラップ	5 タイトル

(令和 2 年 3 月末現在)

(2) ロビー、ギャラリー等の運営 (2-7)

川崎市国際交流センターの各種施設を活用し、市民及び外国人への情報提供を行った。

ア 外国人への情報提供 (情報ロビー)

外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置し、外国人市民への情報提供を行った。

イ 国際交流に係る資料や作品の展示 (情報ロビー)

国内外の文化に身近に接してもらうため、写真や絵画などの展示を行った。

ウ 姉妹・友好都市等ギャラリーの活用

姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市の紹介を行った。

エ 国際交流に関わる情報提供 (談話ロビー、プロムナード)

国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。

オ 国際交流に関わる情報交換 (談話ロビー)

市民や団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。

カ 各国紹介パネルの展示 (情報ロビー、プロムナード)

在日大使館などから提供されたポスターや写真などを館内掲出し、紹介するとともにセンターの国際色豊かな環境づくりを行った。

キ インターネットコーナー (受付前)

無料で利用できるインターネットコーナーの稼働により、市民の情報収集の利便性を高めた。

インターネットに接続したパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。

(利用時間) 午前9時30分～午後8時 (施設点検日を除く)

(利用内容) インターネットの閲覧のみ

(利用料) 無料。1回あたり30分まで

(利用件数) 918件 (内外国人利用129件)

ク 地域との連携

内容	日時	来場者
第28回川崎ジュニア文化賞の受賞作品	9月3日(火)～24日(火)	約300名
市民ミュージアム連携企画「ポスター・雑誌・資料で見る1964TOKYOオリンピック」展～そして2020オリンピック・パラリンピックへ～	7月23日(火)～8月25日(日)	約100名
夏休み特別企画「パラリンピック競技種目ポッチャを体験しよう」	8月18日(日)	20名
市民ミュージアム復興応援「特別展～川崎にまつわる鉄道展」開催 (中原図書館協力)	2月25日(火)～3月22日(日)	約250名

(3) 情報ロビー、展示ロビー、談話ロビーでの催事・展示 (2-7)

国際交流の拠点として、来館者が気軽に世界各国の文化に触れられるように、国際交流の写真や絵

画などの展示を無料で行った。

ア 情報ロビー

	利用内容	主催団体等	利用期間
1	フットメザ講習会&体験会開催	フットメザ・ジャパン	4月21日 他9回
2	2019 インターナショナルフェスティバル 交流体験	かわさき国際交流民間団体協議会 (公財) 川崎市国際交流協会	7月7日
3	「アフガニスタンに 35 年砂漠を緑に変えた」講演会記念写真展	かわさき国際交流民間団体協議会	8月11日～9月9日
4	川崎市国際交流協会 30 周年記念展示	(公財) 川崎市国際交流協会	10月13日～10月28日
5	第 14 回生徒作品展	絵画教室 アトリエ・ミオス	10月29日～11月4日
6	第 20 回カナガワビエンナーレ国際児童画展 (川崎巡回展)	(公財) 川崎市国際交流協会	11月5日～11月14日
7	中村哲氏追悼展	(公財) 川崎市国際交流協会	12月17日～12月27日
8	川崎市国際交流協会 30 周年記念展示	(公財) 川崎市国際交流協会	2月19日～2月29日
9	かわさきハワイアンフェスティバル	かわさきハワイアンフェスティバル	3月21日～3月22日 (中止)

イ 展示ロビー

	利用内容	主催団体等	利用期間
1	2019 インターナショナルフェスティバル 活動展示	かわさき国際交流民間団体協議会 (公財) 川崎市国際交流協会	7月7日
2	絵画作品展	アトリエ遊	8月23日～8月25日
3	写真・ハンドメイド展	井上 圭一郎	8月29日～9月1日
4	川崎ジュニア文化賞作品展示	川崎信用金庫	9月2日～9月25日
5	書道作品展	森 書道教室	10月1日～10月6日
6	第6回子供絵画コンクール賞作品展 in ボスニア・ヘルツェゴビナ	NGO イピル・イピルの会	10月7日～10月13日
7	書道作品展	日曜書道サークル	10月18日～10月20日
8	水墨画展示会	五墨会	10月22日～10月27日
9	アトリエ・ミオス生徒作品展	アトリエ・ミオス	10月29日～11月4日
10	第20回カナガワビエンナーレ国際児童画展 (川崎巡回展)	(公財) 川崎市国際交流協会	11月5日～11月14日
11	絵画作品展	アトリエ遊	11月22日～11月24日
12	書道作品展	葉菜習字教室	1月31日～2月2日
13	絵の展覧会	絵画教室タブノキ	2月14日～2月16日
14	子供アート教室作品展	東芸 KIDS	2月20日～2月24日
15	かわさきハワイアンフェスティバル	かわさきハワイアンフェスティバル	3月21日～3月22日 (中止)

Ⅱ 広報出版事業

■2 情報提供事業

(1) 国際交流センターだより等の発行 (2-8)

ア 「国際交流センターだより」の発行

(目的) 川崎市国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催物や講座、施設についての情報をニューズレター形式で発信した。

(発行) 年間 10 回 (月刊、6・7、12・1 月号は合併号)

(部数) 5,000 部/回

(内容) 月間の行事予定、講座及び行事の募集、センターからのお知らせ、施設点検日、休館日のお知らせ、その他

(配布先) 各区役所・市民館・図書館など公共施設、川崎市内公立小中学校・高校、中原区住吉地区町内会に回覧、その他国際交流関係機関など

イ かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行

(目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介し、国際交流について広く市民に情報を提供した。

(発行) 年 4 回 (季刊)

(部数) 5,500 部/回

(編集等) 当協会登録のボランティアが編集、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。

(広告掲載) 2019 秋号から広告掲載を開始

(配布先) 各区役所・市民館・図書館などの公共施設、川崎市内小中学校・高校・大学等、ボランティア、国際交流関係団体等

(2) センターホームページの運営 (2-8)

センター・協会のホームページにより、市民及び外国人の国際交流に関する多様な情報を提供した。より見やすいホームページとなるよう検討を行い、順次ウェブ・アクセシビリティに適合した記載、記述となるよう変更することとした。英語、中国語のトップページのレイアウトを整備したほか、「センターについて」のページを韓国語でも表記するなど、多言語化を進めた。

ホームページ URL <https://www.kian.or.jp/>

・アクセス件数 148,973 件 (1 日あたり 407 アクセス)

・更新回数 6,787 回

ア 川崎市国際交流協会について

国際交流協会案内 協会のイベント及び講座 協会が後援するイベント

ニューズレター 図書・資料室 国際交流事業への助成制度

イ 外国人への情報提供について

日本語講座 外国人窓口相談 生活情報

外国人留学生への助成制度 11 言語での川崎市内のお知らせ

ウ 小学生への情報提供について

川崎市の外国人に関するデータ 姉妹友好都市

エ 川崎の魅力発信

外国人あるいは外国出身シェフのいるお店

オ 多言語ブログ

「ブログ歳時記」として、他の広報媒体と重複しないテーマを中心に多言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、やさしい日本語）で原則月2回更新。月平均アクセス数約500件、最大アクセス数月約860件

カ その他

ボランティア活動、かわさき国際交流民間団体協議会

(3) 各種メディアの活用 (2-8)

ア 「かわさきFM」の活用

スポンサーとなっている「世界の国からこんにちは」の番組では、川崎市内施設で学ぶ日本語講座受講生等が出演し、自国での経験や外国の新しい情報を届けた。

(出演日時) 平成31年4月～令和2年3月

(会場) 武蔵小杉タワープレイス1階

(参加者) 各回2～3名の外国人(中国・ベトナム等) 市民とボランティア(日本)1名

イ 「暮らしの窓」の活用

センターの指定管理者共同事業体の構成員が管理するマンションへ、定期的に配布をしている情報誌「暮らしの窓」に、センターのイベント情報、施設情報を掲載したチラシを挟み込み、センター事業の広報を行った。

(配布時期) 令和元年5月

(配布先) 中原区、宮前区、幸区、高津区内のマンション217か所 12,951戸

ウ 「Facebook」(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用

毎週約4回以上、センターのイベントや講座及びセンターの様子などについて、写真や画像を掲載し、最新の情報を提供した。言語は内容に応じて日本語と「やさしい日本語」を使用した。

「いいね!」1,215件(令和2年3月末)

エ 川崎市のソーシャル・ネット・ワーキング・サービスの活用

(ア) 協働・連携ポータルサイト「つながっど KAWASAKI」

(イ) 「かわさきイベントアプリ」

(ウ) なかはらメディアネットワーク

(エ) かわさきの生涯学習情報(川崎市生涯学習プラザ)

(オ) かわさき市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」

Ⅲ 講座・研修事業

■3 日本語講座開催事業

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を通年にわたり開講した。また、学習者に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

(1) 日本語講座の開催 (2-1)

ア 講座

- (ア) 午前コース（午前9時50分～11時50分） 年間3期、週2回（火・金）
併せて、保育（受講生の1歳以上の子どもを預かる）も実施
1学期：4月16日～7月9日（22回）、2学期：9月17日～12月3日（22回）
3学期：1月14日～2月28日（13回）
- (イ) 夜間コース（午後6時30分～午後8時30分） 年間3期、週1回（水）
1学期：4月17日～7月10日（12回）、2学期：9月4日～12月11日（15回）
3学期：1月8日～2月26日（8回）

イ 講師 当協会登録の日本語講座ボランティア

ウ 活動ボランティア 当協会登録の保育ボランティア（保育）、一般ボランティア（受付）

エ 会場 川崎市国際交流センター 会議室、協会会議室、研修室、ボランティア活動ルーム、団体活動ルーム

オ 学習者 364名（38カ国・地域）

(2) 特別講座 (2-1)

学習者に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

日時	内容	学習者	日本語ボランティア	合計
6月4日（火）	南京玉すだれ（日本文化体験）	55名（午前コース）	11名	計66名
7月3日（水）	七夕飾り 短冊の書き方と飾りの作り方	34名（夜間コース）	10名	計44名
7月5日（金）	七夕飾り 短冊の書き方と飾りの作り方	44名（午前コース） 子ども5名	10名	計59名
11月29日（金）	漫才で覚える日本語（日本文化体験）	28名（午前コース）	14名	計42名
2月1日（土）	崎陽軒横浜工場見学（遠足）	14名（夜間コース）	6名	計20名
2月18日（火）	防災訓練 当協会職員23名 中原消防署、消防団 他参加	21名 子ども2名	9名 保育ボランティア3名	計250名
2月19日（水）	漫才で覚える日本語（日本文化体験）	28名（夜間コース）	9名	計37名

(3) 研修会 (2-1)

ア 日本語講座ボランティアブラッシュアップ研修

当協会登録日本語ボランティアを対象に研修を開催した。

(テーマ) 「学習者も教師もワクワク学べる日本語学習のデザイン

ー主体的な学び、言語習得、相互作用による文化学習の観点からー」

(日時) 令和2年2月8日（土）午後2時～4時

(講師) 武蔵野大学 教授

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(参加者) 35 名

イ 日本語講座ボランティア登録事前研修

当協会の日本語講座ボランティア登録の希望者を対象に事前研修を開催した。

(日時) 令和元年 11 月 6 日、13 日、20 日、27 日、12 月 4 日

令和 2 年 1 月 8 日、1 月 22 日、2 月 5 日、19 日、3 月 4 日、

水曜日 午後 6 時 45 分～8 時 45 分

(回数) 全 10 回

(講師) 日本語教育学会会員

当協会日本語講座ボランティア講師

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) ボランティアの心得、川崎の識字教育のこれまでの歩みの紹介

当協会のオリジナルテキスト「日本語 160 時間」上・下巻を使って、カリキュラムや授業の進め方の模擬授業を学んだあと、実習を中心に学習。

(参加者) 4 名 (当協会日本語講座ボランティア登録希望者)

■4 国際文化理解講座事業

(1) グローバルセミナー (2-3)

「寺島実郎講演会」「小川典子ピアノコンサート」

川崎市国際交流協会設立 30 周年記念・川崎市国際交流センター開設 25 周年記念事業として、寺島実郎氏の講演会と小川典子氏のピアノコンサートを実施した。音楽で世界をめぐる」と題したピアノコンサートは、8 カ国にちなんだ名曲を各曲の解説やエピソードとともに聴くことができ、講演会は、今の世界の経済的な構造の変化と今後の日本について考える機会となった。

(日時) 令和 2 年 2 月 27 日 (木) 午後 2 時～4 時 10 分

(会場) 川崎市国際交流センター ホール

(内容) ア 特別講演 グローバルな視界からの『知の再武装』とは何か？

講師 寺島実郎氏 (一般財団法人日本総合研究所 会長)

イ ピアノコンサート ～音楽で世界をめぐる～

演奏 小川典子氏 (ピアニスト ミューザ川崎シンフォニーホールアドバイザー)

(参加者) 155 名

(2) 国際文化理解講座 (2-3)

日本とメコン地域諸国の交流「日メコン交流年」10 周年を記念して、タイの舞踊や音楽、言葉や歌を体験する講座を開催した。古典舞踊や各地の民族舞踊、童謡などを通してタイ文化への理解を深める講座となった。

(日時) 令和元年 11 月 16 日、30 日、12 月 7 日の土曜日午後 1 時 30 分～3 時

(会場) 川崎市国際交流センター レクリエーションルーム

開催日	内 容	講 師	受講者
-----	-----	-----	-----

1	11月16日	タイの舞踊と歌1(タイの古典舞踊)	秋元加代子タイ舞踊団	30名
2	11月30日	タイの舞踊と歌2(タイの言葉と歌)	タイ語講師	13名
3	12月7日	タイの舞踊と歌3(タイ各地の民族舞踊)	秋元加代子タイ舞踊団	22名

■5 国際理解講座事業

地域社会の多文化共生を推進するため、外国語(英語、中国語)による文化や課題などの紹介を通して、国際理解を深めた。

(1) 外国語による国際理解講座(2-2)

ア 英語による国際理解講座(前期)

当協会登録ボランティアなどの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験等について、講義と交流を行った。

(日時) 令和元年5月18日(土)、6月9日(土)、6月16日(土) 午前10時30分~12時

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	5月18日	“Welfare System in Norway” 「ノルウェーの社会福祉制度」	当協会国際理解教育講師	32名
2	6月1日	“Globalization of Universities in Japan” 「日本の大学の国際化」	大学講師	30名
3	6月15日	“A Cross-Cultural Analysis of Japan and Canada” 「日本とカナダの異文化比較」	川崎市国際交流員	32名

イ 英語による国際理解講座(後期)

(日時) 令和元年10月14日(月・祝)、11月9日(土) 午前10時30分~12時

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	10月14日	“Let’s Get to know about Nepal : Society & Culture.” 「ネパールを知ろう! -社会と文化-」	大学院生	17名
2	11月9日	“The Medical in-site Interpreters’ Job.” 「医療現場通訳をかいまみる」	英語医療通訳スタッフ	32名

ウ 韓国語による国際理解講座

外国人市民を講師に招き、中級レベル以上の韓国語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。

(日時) 令和元年10月5日(土) 午後1時~3時

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) K-POP がなぜこんなに熱いのか、老若男女問わず愛されるのか、映像や音楽を交えてのとても楽しい講義であった。受付や司会を韓国人留学生に担当してもらい、参加者との交流もはかった。

(講師) 韓国語講師、詩人

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	10月5日	熱い! 3K	韓国語講師・詩人	31名

エ 中国語による国際理解講座

外国人市民を講師に招き、中級レベル以上の中国語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。中国のネット用語の紹介や、現代の消費経済のアイコンとしての芸能人の取り上げ方を日中で比較、芸能人をアイコンとして使うことでファンがどのくらいお金を使うのか、彼らの人気に比例したグラフを使ったりなど、若者の視点から見た興味深い講義であった。

受付や司会を中国人留学生に担当してもらい、参加者との交流もはかった。

(日時) 令和元年11月9日(土) 午前10時~12時

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	11月9日	中国的“粉圈”文化 「中国のファンカルチャー」	川崎市親善留学生	24名

■6 ボランティア養成事業

(1) 観光ボランティア通訳セミナー (2-2)

初中級レベルの英語力で、外国人を案内・交流したいと考えている人材を対象に研修を開催し、訪日外国人についてや川崎でのおもてなしポイントを学んだ。

	日 時	内 容	講 師	受講者
全日コース	5月6日(月・祝) 午前10時30分~12時 午後1時~2時30分	・外国人観光客、インバウンド状況について知る。 ・道案内などの英語フレーズを学ぶ。 ・川崎の観光名所やおすすめポイントをワークショップ形式で考え発表する。	訪日インバウンド対応 総合研究所所長 インドネシア語・英語 翻訳・通訳/外国人誘 客コンサルタント	42名
午前コース ①	5月9日(木) 午前10時30分~12時			34名
午前コース ②	5月16日(木) 午前10時30分~12時			

(2) 災害時通訳ボランティアセミナー (2-2)

川崎の外国人市民と外国人観光客に対して、災害時に通訳ボランティアが支援するための心構えや川崎の現状等について学ぶ研修を開催した。

ア 川崎市における外国人住民と災害時対応~災害時における外国人支援に関する課題~

(日時) 令和元年 12 月 3 日 (火) 午後 7 時～9 時
 (会場) 川崎市国際交流センター 第 4・5 会議室
 (内容) 災害時に外国人が直面する課題について、過去の事例から支援のポイントとボランティアに期待される役割について学び、これからの災害時対応について考える講義となった。
 (講師) 田村太郎 (一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事)
 (参加者) 27 名

イ 災害時多言語支援センター設置訓練

(日時) 令和元年 12 月 8 日 (日)
 (会場) 川崎市国際交流センター
 (内容) 災害時の外国人支援のイメージを明確にすることを目的に、外国人市民や町内会、関係団体と連携したロールプレイングを実施した。
 (参加者) 14 名

(3) プロボノによる多文化共生社会推進事業 (2-2)

ア 「多文化共生を真に考えるためにー教育、労働、在留資格」講演会

多文化共生社会の実現をめざして、「共に生きる社会」を教育、労働、在留資格の視点から問いかける講演会を開催した。

(日時) 令和 2 年 2 月 11 日 (火・祝) 午後 2 時～4 時 30 分
 (講師) 宇都宮大学教授
 (内容) 「多文化社会に生きる」講演会を開催
 (参加者) 34 名

イ 地域資源を活用した外国籍の子ども支援

	日時	内容	講師	参加者
外国につながる子どもたちの教育課題を考えるフォーラム	6 月 23 日 (土) 午後 2 時～4 時 30 分	「多文化の子どもが抱える困難と、その困難への向き合い方」講演、グループディスカッション	一橋大学大学院社会学研究科博士課程	13 名
外国につながる子どもたちの教育課題を考えるフォーラム 2	10 月 16 日 (土) 午後 2 時～4 時	「多文化の子どもの抱える困難」講演、座談会	帝京大学講師	22 名
外国につながる子どもの学習支援者のための在留資格講座	12 月 7 日 (土) 午後 2 時～5 時	・学習支援と在留資格 ・在留資格を知ろう	多文化活動連絡協議会代表、弁護士	15 名
外国につながる子どもの学習支援サポーターブラッシュアップ研修	① 8 月 3 日 (土) 午後 1 時～5 時 ② 12 月 14 日 (土) 午後 1 時～5 時	・外国につながる子どもたちの現状と課題 ・学習支援者に必要な基礎力	多文化活動連絡協議会代表、横浜市教育委員会 日本語講師	① 6 名 ② 9 名
日本語・教科学習支援者の	6 月 1 日 (土)	1 部：外国につながりを持	NPO 日本語・教育	15 名

ための一日講座	午前10時～午後5時	つ子どもたちの現状と課題 2部：小学校国際教室の経験 日本語指導への思い～つくらない教材づくり～ 3部：書く力を育てていくための支援方法～楽しく、意欲的にかくために～ 4部：学習支援が必要な子どもを考えよう～生活困窮、在留資格など 5部：日本語を第二言語とする子どもたちが学ぶために必要なこと～算数・数学～	学習支援ネット 多文化活動連絡協議会	
文化交流会	① 7月28日(日) 午前10時～1時30分	① ロシア ② ルーマニア・モルドバ ③ ギリシャ 地域の料理を参加者と一緒に作り食べる中で、日本語でのコミュニケーションを経験する。	多文化活動連絡協議会	12名
	② 11月17日(日) 午前10時～1時30分			14名
	③ 2月23日(日) 午前10時～1時30分			16名
多言語読み聞かせ	10月22日(火・祝) 午後3時～4時	参加者の前で絵本を日本語と外国語で読み、発表の機会が少ない外国語を母語とする子どもたちの自信につながる機会とする。	多文化活動連絡協議会	15名
	3月20日(金・祝) 午後3時～4時			20名

IV 国際交流促進事業

■7 日本語スピーチコンテスト事業

(1) 日本語スピーチコンテスト (2-5)

川崎市内の大学や専門学校の留学生や日本語講座の学習者及び企業等の外国人研修生等を対象に、第24回日本語によるスピーチコンテストを開催し、日本人と外国人との相互理解を深めた。また、交流会を開催し、出演者と来場者、関係者との交流も実施した。

(日時) 令和2年2月15日(土) 午後1時～4時45分

(会場) 川崎市国際交流センター ホール 他

(内容) スピーチコンテスト、交流会

(主催等) 主催：川崎市国際交流センター

協賛：川崎ライオンズクラブ、川崎中ロータリークラブ

協力：国際ソロプチミスト川崎、東京衣裳きもの学院

後援：川崎商工会議所、川崎市教育委員会、「音楽のまち・かわさき」推進協議会

(対象) 日本語を母語としない来日 5 年以内の外国人で、企業の外国人研修生、市内の大学・専門学校
の留学生、市民館等の日本語講座の学習者等

(出場団体等) 8 団体 11 名

中国	「人工知能の世紀」	幸市民館
フィリピン	「フィリピンについての 3 つのこと」	川崎市国際交流協会（夜間）
中国	「忘年之交」	日本語クラブ土曜の会
韓国	「幸せ見つけた」	外語ビジネス専門学校
中国	「日本でのあれこれ」	川崎市国際交流協会（午前）
韓国	「1 人で生きること」	専修大学
中国	「何かしたいな！ できるかな？」	川崎市国際交流協会（午前）
台湾	「日本で気が付いた事」	法政大学第二高等学校
中国	「思いやりのある日本」	幸市民館
スリランカ	「母のようになりたい」	米山ファッションビジネス専門学校
中国	「言語はまた国境なき文化の一つ」	せかいじん

(来場者) 206 名

(交流会参加者) 85 名

■8 国際文化交流会事業

市民の国際理解を深めるため、音楽・映画等を通じた国際文化交流会を開催した。

(1) 「多文化映画会」(2-2)

川崎市市民ミュージアムと連携し、カンボジア映画「シアター・プノンペン」の映画会を開催した。上映後は、東南アジア文化支援プロジェクト代表の講師による講座を開講し、カンボジアの歴史や文化について理解を深めた。

(日時) 令和元年 8 月 24 日 (土) 午後 2 時～4 時 50 分

(会場) 川崎市市民ミュージアム 映像ホール、

(内容) 映画「シアター・プノンペン」

世界を揺るがせたクメール・ルージュの時代を懸命に生きた人々を描く壮大なヒューマン・ドラマ。

(参加者) 上映会 61 名、講座 47 名

(2) 世界の音楽会（魅惑の音楽紀行）(2-6)

姉妹都市提携 40 周年を迎えるボルチモア市と、音楽を通じた交流と親交を深めることを目的に、川崎市と公益財団法人川崎市国際交流協会が連携し、コンサートを実施した。

(日時) 令和元年 10 月 26 日 (土) 午後 3 時～4 時 30 分

(会場) 川崎市国際交流センターホール

(協力) かわさきジャズ 2019 実行委員会、洗足学園音楽大学

(後援) 公益財団法人川崎市文化財団、「音楽のまち・かわさき」推進協議会
 (内容) ボルチモアトークショー、JAZZ ライブ
 (出演) 日本ボーイスカウト川崎地区協議会青少年ボルチモア派遣メンバー
 公益財団法人川崎市国際交流協会会長、ユキ・アリマサ・カルテット
 (参加者) 228 名

(3) 留学生と交流する会 (2-3)

Winter Gathering & 留学生と交流する会を予定していたが、台風 19 号の影響により延期し、内容を縮小して実施した。

(日時) 令和 2 年 2 月 27 日 (木) 午後 4 時～5 時 30 分

(会場) 川崎市国際交流センターホール

(内容) 多文化交流ステージ

「留学生から見た川崎」発表

ピアノ演奏

韓国の伝統舞踊

(参加者) 60 名

(参加費) 無料

(4) 生活にほんごサロン (2-1)

ア 生活にほんごサロン

日本語教室に通えない外国人市民に、日本語サロンサポーターを 1 対 1 でマッチングし、日本語を学ぶ機会を提供するとともに、相互文化について理解を深める多文化共生の場を提供した。

年度末に多文化共生課の相談員の紹介と日本にきてすぐの日本語学習についてのアドバイスを聞いたり、サポーター学習者から感想や質問を自由に話せる交流会を開催した。

(期間) 平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

(会場) 川崎市国際交流センター エントランスロビー

(内容) 日常生活での困った事や日本語学習など、ペアで相談し決定し、学習や交流をする。

(参加者) 延べ 568 名

(参加費) 無料

イ 生活にほんごサロンサポーター研修

	日 時	内 容	講 師	受 講 者
1	8 月 25 日 (日) 午後 2 時～4 時	地域のボランティアの実情と私にできることはなにか、考えてみる。	(公社) 日本語教育学会 人材育成コーディネーター	13 名
2	9 月 1 日 (日) 午前 11 時～午後 1 時	活動中のサポーターの報告から悩みや質問を一緒に解決する。		12 名
3	9 月 1 日 (日) 午後 2 時～4 時	学習者のニーズに答えるには?		16 名
4	9 月 15 日 (日) 午前 11 時～午後 1 時	サポーターの学習法とスキルアップ		14 名

5	9月15日(日) 午後2時~4時	具体的な実践方法の紹介と ワークショップ	16名
---	---------------------	-------------------------	-----

ウ 生活にほんごサロンサポーター交流会
(日時) 令和2年2月8日12時30分~午後1時30分
(会場) 川崎市国際交流センター ボランティア活動室
(内容) サポーターと学習者に協会の相談員が加わって、一緒にランチを食べながら、困っていることやがんばっていることなどを一人一人発表したり、協会の相談員が日本に来てすぐどういうふう日本語を学んだか、経験談を聞いたりして交流した。
(参加者) サポーター10名、学習者2名、相談員(多文化共生課)2名
(参加費) 無料

V 外国人相談事業

■9 外国人相談事業

外国人から日常生活などに関する相談を受け、情報提供と助言を行うとともに、必要に応じて関係機関・団体等を紹介した。

なお、令和元年7月31日に多文化共生総合相談ワンストップセンターを開設し、新たに4言語を加え、専用ダイヤル、トリオフォンやタブレットを導入して相談機能を拡充した。相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングを原則毎月1回行った。

(1) センター相談事業 (2-4)

川崎市国際交流センター

(相談言語・相談日) 協会相談員6名 いずれも午前10時~12時、午後1時~4時

英語 月・火・水・木・金・土 中国語 火・水・金

韓国・朝鮮語 火・木 ポルトガル語 火・金 スペイン語 火・水

タガログ語 火・水

7月31日以降は協会相談員は13名となり、新たに、ベトナム語 火・金

タイ語 月・火 インドネシア語 火・水 ネパール語 火・土を加えた。

(2) 相談実績

川崎市国際交流センターにおける年間相談数 1,702件

(3) 相談支援 (2-4)

ア 専門相談・各種連絡会議等

(センター内)

行政書士による「外国人ビザ無料相談会」(毎月第3日曜日 午後2時~4時)

(外部)

かながわ外国人居住支援NW運営協議会、川崎市あんしん住宅ネット会議、川崎市女性保護事業関係機関連絡会、川崎市DV被害者支援対策推進会議、中原区子育てネットワーク会議・中原区未来

フェスタ実行委員会、関東ブロック国際化連絡協議会、神奈川県外国人相談機関連絡会、多言語支援センターNW 会議、関弁連外国人相談担当者による懇談会、行政機関・同種団体・研究機関等からのアンケート、調査協力依頼への回答多数

イ 相談員研修

当協会の相談員全員による相談事案の共有と情報交換のためのミーティングや研修を、毎月第 4 火曜日に川崎市国際交流センターで行った。さらに、川崎市国際交流センターで実施する研修や外部機関が実施する研修に相談員を参加させるなど、新しい情報の収集に努めるとともに、相談員の資質向上に努めた。

第 1 回 令和元年 6 月 11 日（火）「市営住宅申し込み書き方説明会」 住宅供給公社等

第 2 回 10 月 29 日（火）「在留資格について」 行政書士

第 3 回 令和 2 年 2 月 4 日（火）「相談援助の基本」 大学教授

ウ 外部研修会等への派遣

外国籍県民相談員研修会

第 1 回 令和元年 6 月 21 日（金）「行政書士による在留資格講座」

第 2 回 8 月 20 日（火）「地域で支え合うネットワークづくり」

第 3 回 10 月 11 日（金）「相談員としての仕事を見つめる」

第 4 回 11 月 25 日（月）「外国につながるのある子供たちの教育における可能性」

第 5 回 令和 2 年 1 月 24 日（金）「FP に学ぶくらしに役立つ年金セミナー」

神奈川県外国人居住支援 NW 運営協議会 令和元年 12 月 16 日（月）

関東弁護士会連合会管内外国人相談担当者による懇談会 令和 2 年 1 月 27 日（月）

神奈川県外国籍県民支援・相談機関連絡会 令和 2 年 3 月 6 日（金）

VI その他の事業

■10 東京オリンピック・パラリンピック関連事業

(1) 観光ボランティア通訳セミナー（再掲）

初中級レベルの英語力で、外国人を案内・交流したいと考えている人材を対象に研修を開催し、訪日外国人についてや川崎でのおもてなしポイントを学んだ。

(2) パラリンピック競技種目体験

ア 夏休み特別企画 ボッチャ体験

（日時）令和元年 8 月 18 日（日）

（会場）川崎市国際交流センター ホール

（内容）親子等 3 人 1 チームのリーグ戦勝ち上がりトーナメント戦でボッチャゲーム体験

（参加者）約 20 名

イ 競技用車椅子走行デモンストレーション・試乗体験

（日時）令和元年 7 月 7 日（日）午後 2 時～3 時

（会場）川崎市国際交流センター 東側車道

（内容）パラ競技選手による車椅子乗り方指導と走行体験

（参加者）10 名

■11 国際交流センター設置目的に沿った事業

(1) グローバルセミナー(再掲)

「寺島実郎講演会」「小川典子ピアノコンサート」

川崎市国際交流協会設立 30 周年記念・川崎市国際交流センター開設 25 周年記念事業として、寺島実郎氏の講演会と小川典子氏のピアノコンサートを実施した。音楽で世界をめぐると題したピアノコンサートは、8 カ国にちなんだ名曲を各曲の解説やエピソードとともに聴くことができ、講演会は、今の世界の経済的な構造の変化と今後の日本について考える機会となった。

(2) 地域資源を活用した外国籍の子ども支援（自主事業）

ア 外国につながる子どものための寺子屋先生養成講座

	日 時	内 容	講 師	受講者
1	8月2日(金) 10時～12時	地域の寺子屋事業の概要、最近の学校事情。小学校の国際教室について	教育委員会生涯学習推進課 指導主事 鷺沼小学校国際学習室	9名
2	8月2日(金) 13時～15時	外国につながる子どもを取り巻く環境と国際交流センターの寺子屋	多文化活動連絡協議会	11名
3	8月16日(金) 10時～12時	日本語と教科学習支援の方法～日本語力、学力、生活力の向上をめざして①	特定非営利活動法人 日本語・教科学習支援ネット	8名
4	8月16日(金) 13時～15時	日本語と教科学習支援の方法～日本語、学力、生活力の向上をめざして②	特定非営利活動法人 日本語・教科学習支援ネット	9名
5	8月29日(木) 10時～12時	川崎市内の外国につながる子どもたちの現状と課題	川崎市総合教育センター カリキュラムセンター指導主事	8名
6	8月31日(土) 10時～12時	先進事例に学ぶ～川崎市ふれあい館の学習支援 見学	川崎市ふれあい館 担当職員	8名

イ 外国につながる子どもの寺子屋（教育委員会事業）

（期間）平成31年4月6日（土）～令和2年2月22日（土）

（参加者）小学生15名 ボランティア20名

体験学習

	体験学習名	日 付	参加人数
1	おさかな学習会	6月8日	7名
2	マジック教室	10月19日	8名
3	走り方教室	11月16日	5名
4	乙女文楽	11月30日	6名
5	茶道体験	12月21日	9名

■12 施設運営及び維持管理業務

(1) 国際交流センターの管理運営（JV）

ア 統括業務

施設の運営、維持管理業務を円滑に行うため、業務間調整、職員への教育・指導を行った。

イ 施設利用受付及び案内業務

(ア) 来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に行った。

(イ) 国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供した。

ウ 施設利用促進業務

(ア) 国際交流センターの正面玄関への誘導案内を多言語で街路灯に表示し、来館者の利便性を図った。

(イ) 国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業の開催について説明し、施設の利用促進を図った。

(ウ) 随時、施設見学の要望を受けて市民への利用促進を図った。

日時	学習者	内容
6月27日（木）	住吉小学校2年生	「まちたんけん」施設見学・インタビュー
9月20日（金）	下小田中小学校2年生	「えがおのひみつたんけんたい」施設見学・インタビュー
11月20日（水） 21日（木）	西中原中学校2学年	職場体験学習
11月19日（火） 28日（木）	住吉小学校2年生	町探検「お仕事にチャレンジしよう」仕事見学・仕事体験

(エ) 国際性あふれる施設空間の活用として、玄関前広場を一般市民に利用できるようにした。

(a) 2月20日 フリーマーケット

(b) 3月21・22日 かわさきハワイアンフェスティバル（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

(c) 3月26日 フリーマーケットとワークショップ

エ 川崎市国際交流センター活用推進検討委員会の開催

川崎市国際交流センターの活用促進を図るため、川崎市国際交流センター活用推進検討委員会を開催した。

(ア) 令和元年10月29日（火）午前10時30分～12時

会場：川崎市国際交流センター1階 特別会議室

議事：①平成30年度指定管理者選定評価委員会の評価結果について

②多文化共生総合相談ワンストップについて

(イ) 令和2年3月17日（火）午後1時30分～3時（開催中止）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため委員会を中止し、各委員より文書にてセ

ンターへの意見・要望を募った。

オ 自動販売機、コピー機及びカラオケ機器（交流サロン）、AED（エントランスロビー）、インターネットを無料で提供できる Wi-Fi（エントランスロビーや談話ロビー、外国人相談を行う事務室）を設置することで、利用者へのサービスを提供した。

カ レセプションルームに、インターネット環境を無料で提供できる Wi-Fi を設置し、利用者へサービスを提供した。

キ 撤去された館内の公衆電話の代わりに、特殊簡易公衆電話（通称ピンク電話）を設置し、利用者の利便性を図った。

ク 外国人市民、来館者を交えた防災訓練の実施

（日時）令和2年2月18日（火）午前10時14分～11時50分

（内容）防災訓練

シェイクアウト訓練と避難訓練、中原消防署と中原消防団による消防訓練、119番通報、AED、水消火器、起震車、web171 災害用伝言板及び災害用伝言ダイヤル171の体験、地域と協力した漆黒の暗闇体験と災害用アルファ化米試食、災害用品の展示、やさしい日本語及び多言語による案内、多言語資料の配布、映像による自然災害の脅威紹介

（アンケート）やさしい日本語と英語、中国語でアンケートを行い、体験したもので役にたった企画や内容について、有事の際の参考としてまとめた。

ケ 利用者アンケートの実施

図書・資料室の室内環境や利便性、資料の満足度を調査するため、図書・資料室入室者を対象にアンケートを実施した。

（実施期間）平成31年4月1日（月）～令和元年9月30日（月）

（回答数）7名

（実施後の取組）新規購入図書の選書の参考とした。また、新着図書の配架方法を表紙出しの図書を増やすことで、目に触れやすくすると同時に新しい図書が入る楽しみを感じられるようにした。室内利用に関する掲示を伝わりやすくするため、コピー機の説明などの補足や変更を行った。室内環境では、空調管理について入室者にあわせてこまめに調整し対応した。

コ 図書・資料室管理業務

（ア）図書・資料の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び受入・配架作業を行い、利用者へ国際交流・理解に役立つ情報提供を行った。

（イ）小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、細やかなサービスの提供を行った。

（ウ）利用の促進を図るため「図書・資料室だより」を隔月発行し、新着図書の紹介や、特集としてテーマ別の図書の紹介を行った。各210部発行し、近隣の公共機関及び小学校などに配布し、施設の周知に努めた。

（エ）定期的に行う新着図書コーナー、隔月毎に行う展示コーナーやおすすめ本コーナーにおいて、多くの入館者に対して様々なジャンルの本の紹介を行った。

（オ）多文化共生総合相談ワンストップセンターの開設に伴い、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、ネパール語の4言語を含む外国語併記または外国語の図書・資料の充実を図った。指差し単語帳、日本語スピードマスター、日本語多読ライブラリー、各国基礎情報、外国語絵本、辞書などを増冊した。また、主要な外国語図書が視覚的にわかるように色別言語シール

を新しくした。

(カ) 学習支援者に役立つ図書の選書及びブックリストの作成や、ブックリストを活用した本の貸出などで、外国につながるのある子どもたちの学習支援事業に協力した。

(キ) テーマ「世界の人と仲良くなろう」に沿って、5冊の所蔵図書を紹介するブックトークを実施した。

サ 施設・設備の維持管理及び補修業務

(ア) 国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。

(イ) 中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施し予防保全に努めた。

(ウ) 施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ効率的な補修を実施した。

(エ) 施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

シ 舞台及びAV機器等維持管理業務

市民文化の醸成と国際文化交流の場とすべく、利用者に機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置、機器類の維持管理を行った。

ス 施設警備業務

宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

セ 駐車場管理業務

駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。駐車場の有料化に伴い、毎日の売上金の回収、集計、駐車場利用者のデータ集計を実施した。

ソ 設備保守点検業務

施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

タ 施設環境衛生管理業務

(ア) 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）」に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。

(イ) 空気環境測定業務 年6回（奇数月）

(ウ) 飲料水水質検査 年2回（2月・8月）

(エ) 給湯水水質検査 年2回（2月・8月）

(オ) 害虫防除 年12回

(カ) レジオネラ症対策

空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施。冷却水水質検査年2回（6月・8月）

チ 施設清掃業務

(ア) 施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。

(イ) 施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。

(ウ) フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

ツ 植栽維持管理業務

(ア) 施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。

(イ) イベント広場等の庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場の環境維持に努めた。

(ウ) 茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

(2) 施設整備

ア 施設の改修

- ・ 地下1階冷温水二方弁交換工事
- ・ ギャラリーホール側ガラス扉（内側）フロアヒンジ交換工事
- ・ レセプションルーム調光盤不具合修理
- ・ 地下1階エレベーターホール監視カメラ更新工事
- ・ ホール調整室制御盤改修工事
- ・ 正面入口内側自動ドア装置交換工事
- ・ ホール移動観覧席修繕工事
- ・ 膨張水槽修理工事
- ・ 屋上冷却塔用電気配管交換工事

イ 施設的环境整備等

- ・ 談話ロビー、情報ロビーダウンライト19カ所LED照明交換工事
- ・ 受付前利用者用椅子3脚交換
- ・ 業務用椅子38脚交換
- ・ ホールピアノ用除湿器交換
- ・ ホール、レセプションルーム用ワイヤレスマイク8本交換
- ・ 図書・資料室利用者検索性PC2台交換
- ・ トイレ洗浄暖房便座修理
- ・ 施設設備プロジェクター修理
- ・ 料理室調理器具整備
- ・ 夏季空調対策用扇風機8台追加
- ・ 多文化共生総合相談ワンストップセンター用看板及び案内表示、相談コーナー整備

(3) 市民共同おひさま発電所

ア 経過等

平成20年8月に川崎市国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。

地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となり立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金、グリーン電力基金からの助成金及び「ap bank」からの融資を受け自ら設置し、川崎市に寄付したものである。

川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、センターを訪れる外国人をはじめ多くの人たちに、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続的に発信してきた。「川崎

地域エネルギー市民協議会」が平成 28 年 1 月に設立されたが、「市民共同おひさま発電所」は協議会の主要メンバーである。

イ 設備の概要

- ・太陽光発電（合計出力） 6. 25KW
（内訳）川崎市国際交流センター陸屋根設置分 4. 32KW、プロムナード上部設置部分 1. 93KW
- ・事業費 約 850 万円
（内訳）寄付金 150 万円、グリーン電力基金 700 万円

(4) 利用実績

ア 令和元年度 川崎市国際交流センター来館者数（月別）

4 月	17, 115 人
5 月	17, 134 人
6 月	17, 446 人
7 月	40, 332 人
8 月	17, 814 人
9 月	16, 176 人
10 月	19, 223 人
11 月	18, 409 人
12 月	15, 990 人
1 月	16, 145 人
2 月	17, 686 人
3 月	7, 830 人
合 計	221, 300 人

※月別の来館者数は、施設利用者、一般来館者、図書・資料室利用者、インターネット利用者、各種講座・イベント等参加者の合計

イ 川崎市国際交流センター施設利用状況（年間開館日数：345 日）

施設名	利用コマ数	利用率%	施設名	利用コマ数	利用率%
ホール (264)	753	72. 8	特別会議室 (28)	55	5. 3
レセプションルーム	605	58. 5	特別応接室 (8)	148	14. 3
会議室 (第 1) (36)	490	47. 3	料理室 (24)	250	24. 2
会議室 (第 2) (24)	679	65. 6	交流サロン (30)	876	84. 6
会議室 (第 3) (24)	613	59. 2	茶 室	283	27. 3
会議室 (第 4) (30)	476	46. 0	レクリエーションルーム	961	92. 9
会議室 (第 5) (30)	529	51. 1			
会議室 (第 6) (18)	752	72. 7			
会議室 (第 7 和室) (10)	531	51. 3			

(注) 1 () は定員

2 利用コマ数は、利用区分（午前、午後、夜間）合計の実利用数

3 利用率は、小数点以下 2 桁を四捨五入

■13 利用者からの意見等に対する対応状況

利用者からの意見等	対応状況（改善内容）
5月23日に、第7会議室（和室）の利用に際し、消しゴムのカスが畳上に散乱していたとの意見がメールで寄せられた。	利用者に対し、お詫びするとともに今後の対応について説明した。また、清掃後に再度確認することの徹底を図った。
7月20日、8月8日、31日に、近隣住民より施設周りの植木と雑草について、景観的にも問題があるので、整備を強化してほしいとの意見が受付に寄せられた。	当該の敷地は管轄外であるが、できる限り草刈りを実施した。また、管轄している道路公園センターに利用者から意見があったことを連絡した。
8月28日、バイク専用の駐輪場がなかったため、屋根のない場所にバイク駐輪場を設置したところ、雨天時に利用ができないとの意見がメールで寄せられた。	意見を踏まえ元の状況に戻した。また、他の施設のバイク専用の駐輪場の状況等を調査した。
10月2日、多目的広場付近の通路の電灯が消えているため、暗いとの意見が寄せられた。	当該の施設管理をしている隣接の「介護老人福祉施設すみよし」に伝えた。
10月3日、利用予約した覚えのない施設予約が入っているとの相談が受付に寄せられた。	ふれあいネット運用センターに問い合わせをし、第三者がログインした可能性があるためパスワードの変更を勧めた。施設利用料については徴収しなかった。
1月7日、センターが掲げているであろう世界平和や差別のない社会づくりの理念に基づき、センターの施設周りにプランターを置き、花々を植栽するべきであるとの意見を電話で寄せられた。	総務課長が意見の内容を聞き取り、趣旨については理解したこと、可能な限りの植栽を実施している旨を伝え了解された。
2月5日、ホームページのトップページにセンターの開館、閉館の記載をしてほしいとの意見がメールで寄せられた。	ホームページのトップページ（下段）にセンターの開館、閉館の記載を行った。
新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用（キャンセル料）や、主催事業の中止・延期等に関する問い合わせが電話等で多数寄せられた。	2月27日以降、新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用、主催事業等の対応についてホームページ等に掲載し、周知に努めた。

■14 施設管理運営における事故等の対応状況

月 日	内 容	対応措置
4月7日	多目的広場において小学生がサッカーをしていたところ、ボールが近隣住宅の窓に当たった。(窓ガラスに被害はなかった)	多目的広場の利用方法を説明した。また、警備強化のため巡回の時間を変更した。
10月12日	台風19号の影響により、センター敷地内の樹木1本が倒れた。また、センター内に多数の雨漏りが発生した。	早急に倒木を除去した。倒木による被害はなかった。 施設点検を行い、雨漏りの応急的な対応を行った。
2月11日	近隣マンションの住民から、多目的広場で遊ぶ子供のボールが窓に当たったとの電話を受けた。(窓ガラスに被害はなかった)	総務課長、施設担当主任が住民宅に伺い、被害の状況を確認した。また、警備の強化及びボールネットの設置の検討を行うことを伝えた。

■15 個人情報の保護状況

川崎市個人情報保護条例（昭和60年6月29日条例第26号）をはじめ、関係法令を遵守し、独自の研修を実施している。指定管理者である公益財団法人川崎市国際交流協会・株式会社東急コミュニティー共同事業体は、事務局内に個人情報保護管理者を置き管理運営を行っている。また、個人情報保護研修を年2回実施している。

■16 利用者アンケートの実施

(1) 図書・資料室（再掲）

図書・資料室の室内環境や利便性、資料の満足度を調査するため、図書・資料室入室者を対象にアンケートを実施した。

（実施期間）平成31年4月1日（月）～令和元年9月30日（月）

（回答数） 7名

（実施後の取組）新規購入図書の選書の参考とした。また、新着図書の配架方法を表紙出しの図書を増やすことで、目に触れやすくなると同時に新しい図書が入る楽しみが感じられるようにした。室内利用に関する掲示を伝わりやすくするため、コピー機の説明などの補足や変更を行った。室内環境では、空調管理について入室者にあわせてこまめに調整し対応した。

(2) 外国人市民利用者アンケート

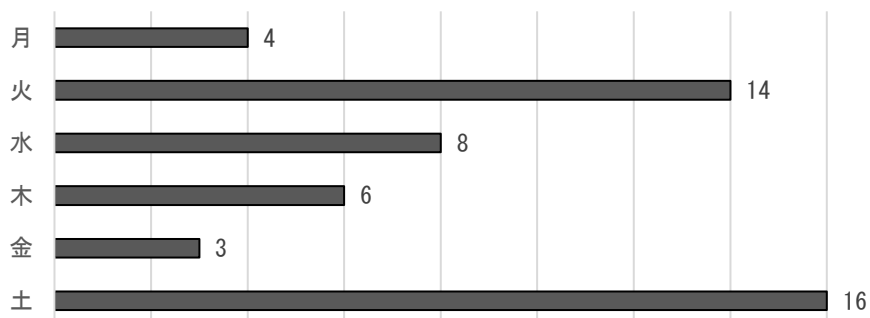
言語別回収枚数

英語	日本語	タガログ語	ポルトガル語	タイ語	中国語	韓国語	スペイン語	ネパール語	ベトナム語	インドネシア語
25	9	6	5	5	4	4	2	1	0	0



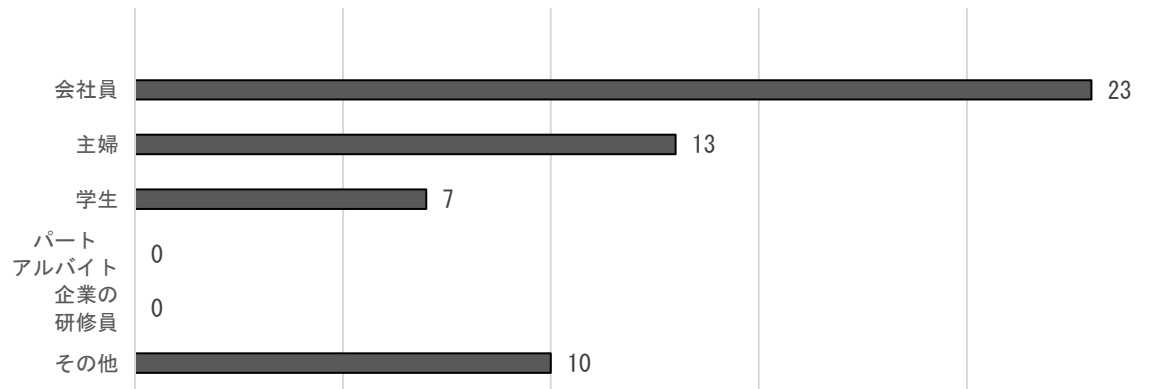
曜日別集計

月	火	水	木	金	土
4	14	8	6	3	16



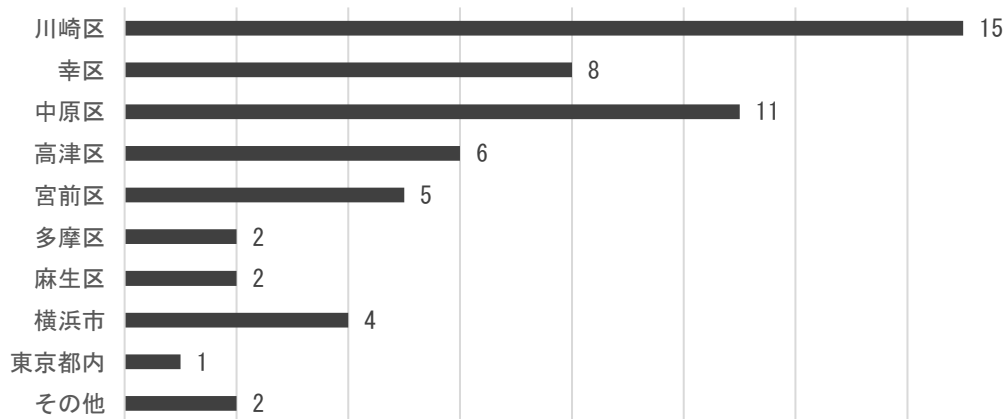
職業別

会社員	主婦	学生	パート アルバイト	企業の 研修員	その他
23	13	7	0	0	10



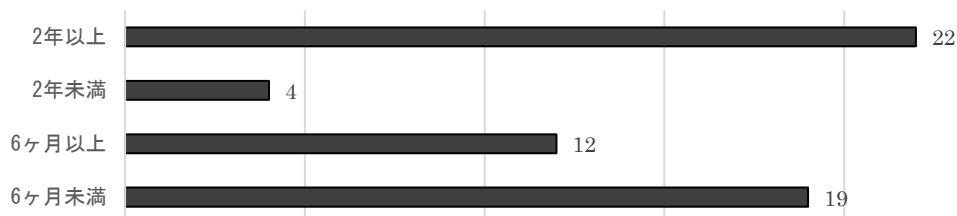
住まい

川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	横浜市	東京都内	その他
15	8	11	6	5	2	2	4	1	2



在日年数

2年以上	2年未満	6ヶ月以上	6ヶ月未満
22	4	12	19



どのくらい住む予定

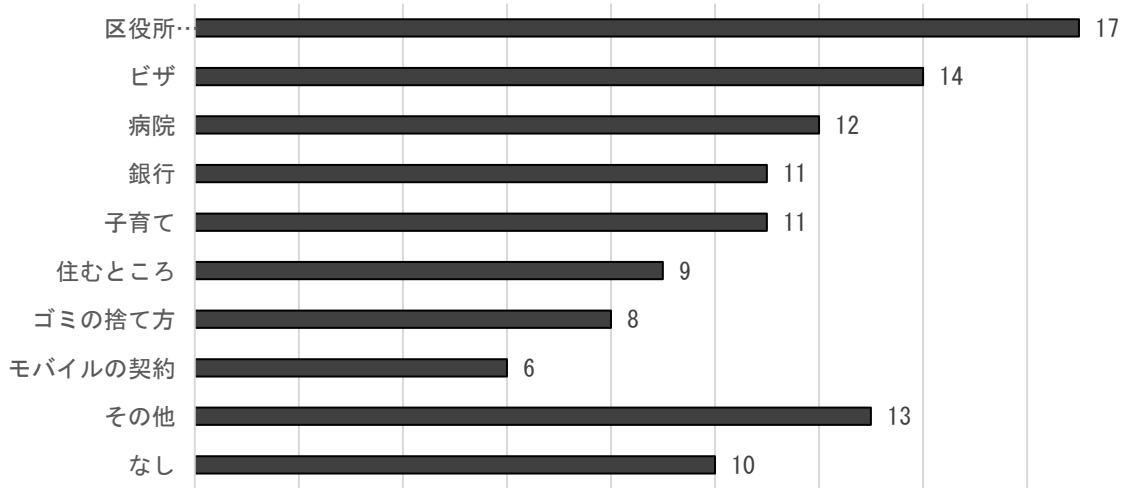
6ヶ月	1年	2年	3年以上	未定
0	3	2	50	2



日本の手続きで困った事

区役所 (税金・健康保険)	ビザ	病院	銀行	子育て	住むところ	ゴミの捨て方	モバイルの契約	その他	なし
17	14	12	11	11	9	8	6	13	10

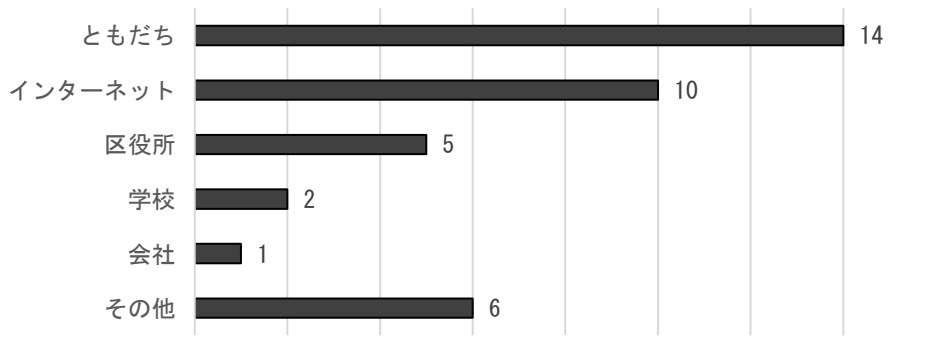
その他 会話・日本語 5件



どうやって国際交流センターを知ったか

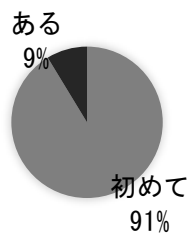
ともだち	インターネット	区役所	学校	会社	その他
14	10	5	2	1	6

その他 家族 2件 市役所シラシ 2件



今までに国際交流センターを利用したことがあるか

初めて	ある
21	2



どんなイベントに興味があるか

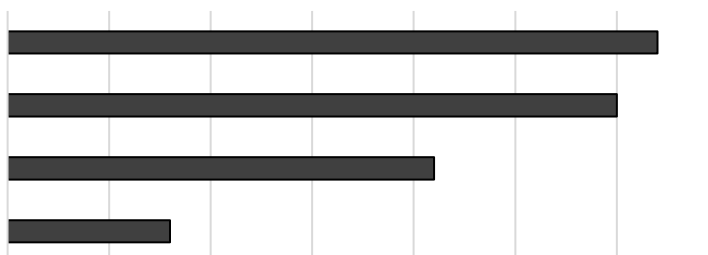
日本の伝統文化や季節の行事を体験する	生活に役に立つ知識を得る	自分の文化や言葉を紹介する	その他
32	30	21	8

日本の伝統文化や季節の行事を体験する

生活に役に立つ知識を得る

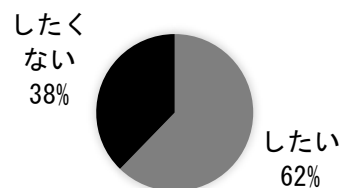
自分の文化や言葉を紹介する

その他



ボランティアスタッフとして参加したいか

したい	したくない
33	20



国際交流センターに来るとき困ったか

困った	困らない
4	49

